特集

お同行訪問「こんにちは」(7)

お寺の各分野でお世話下さる方や、よくお寺にお参りされる方を訪ねて、質問に答えていただきました。

お尋ねしたこと

①お寺参りのきっかけ
②あなたの趣味
③好きな言葉
④今までに一番嬉しかったこと
⑤お念仏の友に何かひとこと
⑥その他何でも自由に

生きているってすばらしい

千田町
佐々木ゆとりさん
（昭和6年生れ）

●お寺参りのきっかけ
私は昭和二十六年に結婚しました。その時、父も母も浄光寺のお世話をさせて頂いていました。子供が生れた三十年頃より、母が子供のお手伝いに行くようにと言われ、西も東もわからぬままお手伝いさせて頂きました。お陰で聴聞を重ねお育てに預かりました。

●あなたの趣味
茶道・お花・踊り　好きな歌を大きな声で歌う・3B体操犬との散歩。

●好きな言葉
生きているってすばらしい。今朝も目が覚めました、有難いことです。

●一番嬉しかったこと
昨年四月三十日、我が家に曾孫が生れました。可愛い男の子琥太郎です。亡くなった主人に見せたくて、すぐ仏様にお参りしました。今年の四月二十二日のふれあい法座で喜寿のお祝いをして頂きました。主人も七年前祝って頂きました。今年の二月七回忌をしました。本当に嬉しゅうございました。

●お念仏の友にひとこと
いつも心豊かで、おしゃれなお祖母でありたいと思います。生かされているいのち、心豊かにやさしい心で、皆でお寺にお参りしましょうね。

●その他何でも自由に
昨年より体調を悪くしていますが、今は、ころばないように、風邪をひかないように、あれこれ思わないように、明るく自分らしく生きて行こうと思います。

お寺にお参りしましょう

一宮町
宮内カネ子さん
（昭和14年生れ）

●お寺参りのきっかけ
前住職様から仏婦のお誘いを受けてお参りするようになりました。

●あなたの趣味
おどり・エレクトーン・スイミング　みなたのしく行っています。♡

●好きな言葉
〝まんまんあん〟いちばんはじめにおぼえた言葉です。今は、〝なんまんだぶつ〟と言われるようになりました。〝がまん、がまん〟もすきです。♡

●一番嬉しかったこと
おどりやまんまんさんの人たちにまもられているので、風香はしあわせです。夏のおてらのおとまりも五さいから行っています。まんまんさんは大すきです。♡

●お念仏の友にひとこと
だれでも、まんまんさんへおまいりすると、いろんなことがわかってくるよ。♡

●その他何でも自由に
おおきくなっても、まんまんさんのことをわすれないで、ずっとおぼえておきます。じいちゃんもマヌばあちゃんもずっとながいきしてください。

風香はしあわせ

都野津町
佐々木風香さん
津宮小三年生

●あなたの趣味
手芸・野菜作り

●好きな言葉
おかげさま・がんばろう

●一番嬉しかったこと
長男の結婚

●お念仏の友にひとこと
お寺にお参りしましょう。そして、その輪の中にご一緒させて下さい。

●その他何でも自由に
お寺にお参りすると、皆の笑顔に会え、私も自然に笑顔になれる。本当に嬉しいことです。

●お寺参りのきっかけ
一さいとちょっとで、じいちゃんとマヌばあちゃんのところへ来ました。まんまんさん、浄光寺へは、じいちゃんやママにつれてきてもらいました。きょうとのまんまんさん、本願寺へも三回いきました。♡

「ご先祖はもうあの世に帰った？」

お盆の意味

毎年、八月のお盆時期になると、あちこちの門徒さんから〝お盆参り〟を頼まれ、忙しい毎日を送ることになります。特に十三日から十五日にかけてがピークで、お寺によっては一日に一人の僧侶が五十軒も回らなければならないところもあるとか？。体力もさることながら、門徒さんの要望する日時を調整するのも一苦労です。

そんなお盆参りで、ある年の八月十六日、こんな出来事がありました。

普段めったにお参りしないお宅でしたが、夕方、汗をふきふき駆けつけたところ、あばあさんが出てきて、いきなり「今ごろ来て！もう遅いでっしゃろ。ご先祖、あの世へ帰ってしまいはりましたがな…」と、こうです。待ちくたびれたこともあってか、いかにも不満そうです。

こちらも疲れていて、一瞬ムッときましたが、そこらは抑えて「ご先祖が帰ったと、誰がそんなこと言いはった？」と尋ねると、「そうかて〝十三日に戻って来て、十六日には又あの世へ帰る〟と言うやおまへんか！」と、このおばあさん。

ご先祖への感謝と仏法を慶ぶ日

「それはな、ご先祖への感謝と、仏法を聞くことの大切さを忘れないように、先人たちがそういう言い方で私たちに伝えて下さったんや。何もご先祖が一年に三、四日だけ私たちの所へ戻ってくるわけないやない。実際、おばあちゃんの心の中には、いつもいてくれてはるやろ」

こう言うと、おばあさんも少しは気が安まり、こちらの話に耳を傾けてくれました。

お盆と言えば、いわゆる〝先祖供養〟と考え、しかも〝特定の先祖のために〟供養するもののように思いがちです。しかし、特定の先祖を追慕するにしても、そのお心を仰げば仰ぐほど、数限りないご先祖によってこの私のいのちが恵まれたことを慶び、仏法を依り所に力強い人生を歩むことの大切さを思い知らされます。

したがって「先祖のために供養する」というのではなく、ましてや、先祖が戻ってくる〝日〟にこだわる必要はありません。

末本弘然著より「仏事イロハ」より

仏婦がんばっています

≪今年度仏婦活動の概略≫

●総会・例会の開催
●地区例会の開催
　①都野津説教所
　②二宮 浜野屋宅
●研修旅行の実施
●仏婦会報「まなざし」
　年４回発行
●ダーナの実践
　①老人施設訪問
　②ダーナ募金の実施
●法座活動への
　参加と報謝
●会員の拡大
●その他

現在会員募集中！

浄光寺仏婦総会開催される

去る五月二十七日に仏婦会員八十五名が出席して、浄光寺仏教婦人会総会が開催され、今年度の活動等について話し合われました。

当日は松江市より目次知浄先生を講師にお迎えし、ご法話のあと先生による人形劇やゲームソングで、とても楽しく実り多い一日を過ごしました。

石見間真会１００周年記念大会

記念講演と二胡の調べ

期　日　10月６日(土)午前10時開会
会　場　千田　浄光寺
参加費　２千円

記念講演

「いのちを考える」
大谷大学前学長
小川一乗（おがわいちじょう）先生

二胡の演奏

慈しみの心、世界へ響け」
二胡奏者
姜　暁艶（ジャン ショウイエン）さん

※浄光寺にチケットがあります。